はじめに

「最近、ズボンがきつくなったかも ・・・」 そのお腹、放置しないで!

お腹の内臓まわりに脂肪が蓄積する「内臓脂肪型肥満」は、 30歳以降で徐々に増え始め、40歳以上の男性では2人に 1人以上が該当します"。

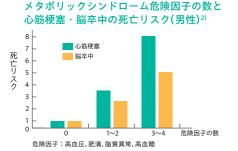
メタボリックシンドロームは、内臓脂肪型肥満をもち、 高血糖、血圧高値、脂質異常の状態を全てもしくは複数 あわせもつ状態のことをいいます*。



心臓病や脳卒中の発症リスクを高めるメタボリックシンドロームは、30歳代から増え 始めます。将来の介護予防や医療費節約のために生活習慣改善を今日から始めましょう。

メタボリックシンドロームの現状リ





- *メタボリックシンドロームの基準:腹囲男性 85cm以上、女性 90cm以上+高血糖、高血圧、脂質異常のうち 2 つ以上に当てはまる(1つ当てはまる場合は予備群)
- 1) 厚生労働省. 令和元年国民健康・栄養調査報告 2) Circ J. 2006;70:960-964

このパンフレットは、最近お腹まわりが気になり始めた男性に向けた健康的な体づくりのためのツールです。これからの健康のために早めに対策を知っておきたい方はぜひご活用ください。





健康的な体づくりのための 生活習慣見直しノート



肥満は病気ドミノの始まり

メタボリックドミノ 生活習慣や 遺伝・体質が影響 脂質 高血圧 異常症 糖尿病 動脈硬化 脂肪肝 腎障害 脳卒中 認知症 心臟病 失明 · 诱析 心筋梗 塞など) 日本臨牀 2003:61:1837 を参考に作成

メタボリックシンドロームはさまざまな病気のリスクとなりますが、その始まりは肥満です。メタボリックシンドロームが進行すると、ドミノ倒しのように高血糖、高血圧、脂質異常症となり、さらに心臓病や脳卒中など重大な病気になってしまいます。 連鎖を起こさないために、肥満を食い止める生活を考えてみましょう。

※肥満でない人も適切な運動や食事をしていないと高血糖、高血圧、脂質異常症になるリスクがあります。

メタボリックシンドロームに深くかかわる病気

糖尿病

- 高血糖の状態が長く続く と血管が傷つきます。 放置していると失明したり、 透析が必要になります。
- 確認する検査項目 血糖値、HbA1c

高血圧

- ●血圧が高い状態が続くと、 血管が分厚く硬くなります。 放置すると、脳卒中や心不 全を引き起こします。
- 確認する検査項目血圧

脂質異常症

- 脂質の検査値が基準値から 外れた状態が続くと、血管 にコレステロールがたまって いきます。放置すると、血管 がつまり、脳卒中や心臓病 を引き起こします。
- ●確認する検査項目 LDL-コレステロール、中性 脂肪(TG)、HDL-コレス テロール

運動習慣と食習慣を振り返ってみましょう

今の生活を振り返ってみましょう。自分の習慣に当てはまるものがいくつありますか? 当てはまるものに全て ✓ を入れてみましょう。

身体活動・運動

- □ 1回30分以上の軽く汗をかく運動を 週2日以上の頻度で、1年以上継続して 実施できていない。
- □ 日常生活において歩行又は同等の身体 活動を1日1時間以上実施できていない。
- □ ほぼ同じ年齢の同性と比較して歩く 速度が遅い。
- 階段よりエレベーターを使うなど、意識的に体を動かすことができていない。
- □ 1日の中で座っている時間が長い。

食 事

- □ 人と比較して食べる速度が速い。
- 就寝前の2時間以内に夕食を とることが週に3回以上ある。
- 朝昼夕の3食以外に間食や甘い 飲み物を摂取している。
- 朝食を抜くことが週に3回以上ある。
- 1日の食事時間が決まっていない。
- □ 食事のバランスを考えて食べていない。
- □ 食塩含有量の多い食品や味付けの 濃い料理を毎日食べている。

チェックした項目は、 あなたの生活習慣 改善ポイントです。 今後ひとつずつ チェックを外せるように 取り組みやすい項目から 改善しましょう。



まずは、今より10分多く体を動かそう

身体活動量が多いほど、心臓病や脳卒中など生活習慣病のリスクは低下します。 また、肥満の予防・改善には運動が欠かせません。

健康のために、どんな 強度でもいいので身体 活動を増やす。



1日の中で座っている時間が長いほど死亡リスクが増加する¹⁾。



1) BM J 2019:366:J4570

2

国が示すアクティブガイドでは

『+10(プラステン): 今より10分多く体を動かそう』をメッセージ

として日々の身体活動量アップを推奨しています 11 。減量効果として+10を1年間継続すると、 $1.5 \sim 2.0$ kg 減の効果が期待できます。



10分=1,000歩くらい ライフスタイル に取り入れる

生活の中に上手に身体活動を取り入れましょう。

通勤

いつもと違う通勤ルートを使って、行き帰りで5分ずつ 遠回りしてみる。駅では階段を使う。歩幅を広く、早歩きを意識する。

仕事中

1時間作業をしたら、5分間立ち上がってストレッチ。 遠くのトイレを使う。

休日

出かけるときは車ではなく電車や自転車などを使う。 買い物に行くときは最寄りではなく、 少し遠いスーパーやコンビニに足を延ばす。 掃除の頻度を増やす(窓ふきや庭掃除など)。

体を動かすことは、ストレス解消にもつながります。 運動にはたくさんのメリットがあるので 日常的に意識してみましょう!



規則正しい食生活と食べ過ぎに要注意!

規則正しい食生活を心がけましょう。

食べる速度が速 いと糖尿病や肥 満のリスクが2倍 になる^{2,3)}。 **。**

朝食をとらないと 糖尿病や脳卒中、 心筋梗塞のリスク が上がる^{4,5)}。

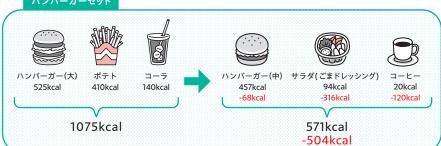


運動だけで消費できるエネルギー量は限られていることから、 食べ過ぎない工夫を考えてみましょう。



エネルギー量の目安 白米お茶碗 1 杯 250kcal くらい





コンビニの食事



栄養成分表示をみる習慣がつくと、 自然にエネルギー量を低く抑えることができます。 管理栄養士監修やスマートミール認証など ヘルシーメニューを選ぶのもおすすめです。



食生活改善のための工夫

- よく噛んで食事を楽しむ
- 規則正しく食べて、間食や夜食を控える
- 砂糖が入った飲み物は控える
- 食事に野菜・海藻類を取り入れ、先に食べる
- 麺類の汁は、飲み干さない
- 麺とごはんの組み合わせなど 炭水化物のセットを避ける

生活習慣病予防のためには運動習慣と食習慣の改善が重要ですが、どちらかひとつだけでも取り組むことで効果があります。日常生活の中で無理のない生活習慣改善の取り組みを少しずつ増やしていく方法は、長期的な減量効果が期待できます¹⁾。

目標体重を決めましょう

無理のないペースで体重を減らしましょう。

\ まずはこれ! /

第1ステップ

自分にとって適切な体重、BMIを確かめましょう。

現在		適正
体 重 :	kg	体重:25×(身長m) ² 未満
BMI*:		BMI:18.5以上、25未満
腹囲:	cm	腹囲:男性は 85cm 未満 女性は 90cm 未満

*BMI=体重kg÷(身長m)2

∖次はこれ! /

第2ステップ

1ヵ月に体重の1%減を目指そう

 $3\sim$ 6ヵ月で現在の体重から3%減量することが推奨されています $^{1)}$ 。 単に[5kg減らす]という決め方をするのではなく、自分の体重から何パーセント減らすかを決めましょう。

1ヵ月体重 1%減=___kg

を目安にコツコツと減量に取り組みましょう!

ここまで \ いけたらすごい! / 第3ステップ

当通体重の基準となるBMI25未満を目指しましょう

適正なBMI になるにはどのくらいの減量が必要でしょうか?

BMI25未満を目指すには

[今の体重]-[25×(身長m)2]=___kg以上

の減量が必要です。

記録をつけましょう!

目標達成のために、今日から何を始めますか?

あなたが取り組んでみたいこと、今からできそうなことから始めましょう。

自分にとって無理なく続けられることが大切です。

日々の記録をつけ続ければ、体重が減りやすいです!



記録シートはこちらから ダウンロードできます。

生活習慣改善シート 記入見本

改善目標の達成度:実施できた〇 できなかった×

WELLING COUNTY						
		体重	歩数	改善目標1	改善目標 2	今日のひとこと
		目標体重 <u>90</u> Kg	目標歩数 9000 歩	朝 30分 散歩する	コーラを 飲まない	
			達成度	達成度	感想や言い訳	
週目	/	91.2	9234	0	0	
	/	91.5	6912	×	0	1日中PC作業
	/	91	9212	0	0	<
	/	91.5	6200	×	0	1日中PC作業
	/	91	9000	0	×	外仕事でのどが渇いた
	/	90.8	9500	0	0	
	/	90.5	9400	0	0	
1週間の満足度 🗶 🔘		0	0	ようやくペースが		

1週間の取り組み満足度:満足○ まあまあ△ 不満足×

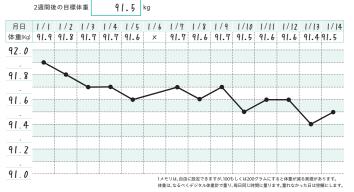
○△×をつけましょう

自分の判断で

書けなかった日は空欄に しましょう。毎日記録する のが理想ですが、無理の ないペースで記録します

記録シート 記入見本

体重記録シート 記入り



取り組むのが難しいと感じたら、 いろいろな組み合わせをためしてみましょう。 ひとつから始めても大丈夫!つけた記録は次回の面談時にお持ちください。 一緒に振り返りをしましょう。

